

聞いたぜ!

オレとZ

本命インタビュー

日本のチューニングカーはZを中心に進歩して来た。つまりチューナーはZに育てられて来たと言ったって言い過ぎではないだろう。果してチューナーたちは、Zをどのように見ているのだろうか。今回、Zチューナーとして有名な東西の6人にZに対する考え、思い出を語ってもらった。

インタビュー：鈴木直也／斉藤慎輔

テクニカルサービストライアル

トライアル 社長 牧原道夫さん

大阪のLチューナーで初めて300km/hオーバーをマークしたチューナーとして有名。当然マシンはZだ。最近ではZ以外のチューンドも行っているが、やはりL、V Gが得意分野。

■大阪府東大阪市美江780-1 ☎0729(65)6823 年中無休
阪神高速・大阪東大阪線の長田ICで降りて、308号線沿いの右側に位置する。ガレージ内はボルシェやトヨタ車の姿もあった。



僕の理想の"Z"はMID-4かなあ?

走らせたときには、感動したね。クルマってこういうのはいじればこんなに速くなるんだって、ホントにビックリした。たぶん、ゼロヨンなんか14秒台だったんだろうけど、当時のクルマっていったら排ガス規制でヘロヘロだった時代でしょ。あのころの14秒台は今の10秒台に匹敵する性能だったわけ。

「S30 Zだけで7台、S130 Zを2台という風に乗り継いできたんだから、やはりZには思い入れがあるね。ボクが初めてチューニングを始めたころはあんまりパーツがなかったから、240 ZのL24をベースにトモエの88.5φピストンを入れた2・7と、カムはオブションの74度くらいしかなかったんだ。それでも、初めてこのクルマを造り上げて

その後、S130とか、今のZ3とか、クルマは進歩してきたけれど、あのころのZのスポーツカーらしい強烈なイメージを凌ぐクルマは現れていないなあ。今だったら、MID-4がそのまま出てくればZの称号をあげてもいいと思うけど、どうなの？」

SHORT IMPRESSION

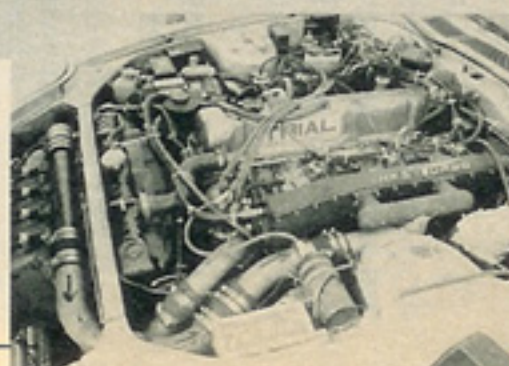
トライアルの最新ハリキリZ
307.955km/h記録車を街で乗る!



●オーナー：久保博史

TUNING MEMO

L28をベースとした3.0、OERの50φキャブ3連装にHKSのツインターボ。最高速トライアル用でも街中を走れちゃうのがスゴイ。



推定500ps以上のモンスター

外観はタイヤホイール以外はノーマルのこのZ、実はトントモナイ怪物である。ボンネットの下にひそむエンジンは、3.0のツインターボ。しかも、それも単なるツインターボキットを組んだ街乗りチューンのエンジンではなく、最高速トライアル用に造られた推定500ps以上のスペシャルエンジンが収まっているところがスゴイのである。

てくれるのは4500〜6500回転という領域。3速あたりでパワーバンドにはいったときの加速は、それはもうすさまじいものだ。3速4000回転という車速は100km/h以上に達しているのだけれど、そこからいきなり体がバックレストに押し付けられたかと思うと、次の瞬間には、もう6500回転、ほぼ160km/hの世界にワープしている。4速、5速の加速は、想像するに恐ろしい、まさにモンスターマシンだった。 (鈴木直也)